



院長 須藤 英仁

皆様、明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて昨年の出来事を考えますと、日本はまさに苦境のまっただ中でした。小泉首相の出現にて、骨太の構造改革という名のもと、数々の提案がなされており、昨年度は、高齢者の医療が70歳から75歳に引き上げられました。今後どういった改革がなされるかわかりませんが、まさに医療もそんな嵐のまっただ中にあると言えましょう。しかし日本の医療はそんなに悲観するものなのか、現状を考えてみましょう。日本の平均寿命は、まさしく男女とも世界一です。女性は85歳になろうとしております。これはいかに日本の国民の皆さんが健康に対し気をつけているかの表われだと思えます。経済効果はどうでしょうか、日本の医療費は国民総生産の7%です。アメリカは実に13%、日本の倍のお金を医療に掛けています。

では日本の医療はアメリカに比べてどうでしょうか。アメリカでは貧しい人

は限られた病院にしかかかる事が出来ません。日本では自分の意志でどんな病院にもかかることができます。これは非常に大きなことです。アメリカでは入院は手術をして数日しか入院をしない、という話をよく聞きます。これには大きなトリックがあります。確かにアメリカでは手術後、数日で退院となります。しかしその後は病院の周りのホテルに滞在して病院に通院するのです。もちろんホテルの滞在費は実費となります。これは医療費の方がホテルよりも高いからです。日本ではとても考えられないことです。国連のWHO（世界保健機構）では、日本の医療システムが経済性、また効果でも世界No.1という評価を下しているのです。しかしどういふ訳か日本のマスコミは、こういったすばらしい評価を報道しません。我々医療人は全ての国民が医療保険に加入でき、全ての人がどんな病院でも診てもらうことができ、全ての人が平等に治療を受けることのできる、日本の医療システムを絶対に守らなければいけないと思っております。

もちろん無駄な医療費は削減しなければなりません。しかし世界No.1の医療を担うものとして、自信を持って、今年も頑張っていきたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

老 健 だ よ い

明けましておめでとうございます。日頃からご協力頂いている利用者をはじめ、ご家族の皆様には、感謝申し上げます。また、いつもお世話になっている、ボランティアの方々、地元の多くの方々にも心からお礼申し上げます。当施設では入浴、給食サービス、健康チェック、レクリエーション、リハビリなど行っています。我が国も超高齢化社会を迎えるにあたり、新しい時代にふさわしい、サービス提供ができるように、安らぎと生きがいのある生活の場の提供を目指し、地域福祉の拠点となってお年寄りが安心して利用でき施設となるように、スタッフ一同、より一層の努力をしていきたいと思っております。これからも末永く変らぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、今回の老健だよりでは、年間行事とデイケア利用の者の短歌、そしてボランティアの方々にお話を伺ったので、ご紹介させていただきます。

ボランティアさんに直撃インタビュー

近所のカラオケクラブの歌や踊りの大好きな仲間が、お年寄りの集いにアトラクションとして出演、好評だったのできっかけで、お年寄りたちに人気の高い昭和三十年代以前のナツメロをレパートリーに歌や寸劇を演じています。毎月一回の公演で、今回で百三十八回を記録しました。演芸を見て頂き、喜んでもらえるのが、本当に嬉しく励みになります。少しでも若い頃の事を思

い出してもらい、感激のあまり涙を流すお年寄りもいて、訪問して喜んでもらい同好会一同満足しています。また、これからも毎月一回を目標に県内の施設で公演したいと思っています。



ボランティアをしてみて

箕郷町歌謡演芸同好会

会長 西原 巖

初めて「めぐみ」さんに訪問しました。若い施設に若い職員の皆さんの老人に対する心ある熱意を感じました。「自分の好きな歌や踊りでなくお年寄りの一番喜ぶ事をするのが慰問である」と、ある老人ホームの指導員さんの言葉を胸に今のスタイルになりました。演芸終了後お年寄り一人一人と握手して回ると皆様感激して、なかなか手を離さず、毎回後ろ髪引かれる思いで施設を後にします。職員の皆様のご協力に感謝し、来年も是非訪問したいと思います。



ご利用者の声

利用者の方よりこのような嬉しいお言葉を頂きました。このような言葉を励みに私たち職員は、利用者の皆様が楽しく元気に在宅生活を続けられるよう、これらも努力していきます。

～デイサービスを利用して～

武井 はつ

三十年前から一人住まいをして居た私は、昨年夏に思わぬ大病で入院しました。病は奇跡的に回復したものの足が弱り一人で歩けなくなったのでめぐみに入所しました。四ヶ月のリハビリの結果、今はヘルパーさんの助けを受けながら、どうにか元の一人暮らしに戻ることができました。

今私は週三回のデイサービスを楽しみにしています。それはリハビリで体を動かしたり、同じデイサービスの仲間とお話をしたり、歌をうたったりしながら楽しい一日を過ごすことが出来るからです。またアコーデオンスークルが来てにぎやかな毎月のお誕生日会、その他色々な催し物にも参加させていただいています。

これもめぐみのデイサービスがあるから出来ることで、大変有り難く思っています。この様な楽しい日々を送れるのも、職員の皆様のお陰と感謝して居ります。

次に、めぐみ開設以来ご利用頂いております、矢中様が作りました、短歌をこの場を借りてご披露させていただきます。

夜明け前 屋上より見れば
空一面煌きている
オリオン星座

土手の下梅の若木に
日だまりて
白き蕾の咲き初みており

病室の窓辺に寄れば朝靄の
碓氷川辺に白鷺の飛ぶ

見守られつ四本足の杖つきて
リハビリ室に向かう
わが姿かな
矢中 いち子

ご協力頂いたボランティアと利用者の方々有り難うございました。今年も沢山の方々に老健『めぐみ』をご利用していただけるよう、職員一同頑張りますので、よろしくお願い致します。